

左半分へ

武田
信玄

本日は座席指定

二択です！

上杉
謙信

右半分へ



鞭声肃々夜過河
曉見千兵擁大牙
遺恨十年磨一劍
流星光底逸長蛇

漢詩に挑戦！

鞭声肃々夜過河
曉見千兵擁大牙
遺恨十年磨一劍
流星光底逸長蛇

鞭声肃々（べんせいしゆくしゆく）
夜河を渡る
曉に見る千兵の大牙（大将の
旗）を擁するを

鞭声肃々夜過河
曉見千兵擁大牙
遺恨十年磨一劍
流星光底逸長蛇

遺恨なり十年一劍を磨き
流星光底（りゅうせいこうてい）
長蛇を逸す

鞭声肃々夜過河
曉見千兵擁大牙
遺恨十年磨一劍
流星光底逸長蛇

江戸時代の儒学者 頼山陽の漢詩

上杉謙信側の視点から川中島の合戦を描く

鞭声肃々夜過河
暁見千兵擁大牙
遺恨十年磨一劍
流光底逸長蛇

謙信の軍は軍馬にあてる鞭の音も
しのばせて、夜千曲川を渡る

信玄軍は暁の霧の晴れ間に上杉軍
が大將旗を翻して目前にあること
に驚愕

この日のために十年磨いた名刀で、
敵の信玄に斬りつけながら
ついに長蛇の如き悪者を逃してし
まったとは、まこと遺恨なり

川中島の戦い

(永禄4年、第4回目の両軍の動き)

武田軍
上杉軍

5 9月10日午前7時半
濃霧が晴れると、上杉軍が
武田の陣営に突入し、乱
戦となり武田軍が苦戦。

6 妻女山の武田の別働
隊が八幡原に駆けつ
け、形勢が逆転する。

茶臼山

布施

八幡原

川中島

海津城

松代

妻女山

2 8月29日
武田軍が海津城に入る。

3 9月10日午前4時
武田軍別働隊12000人が妻女山へ。
信玄は8000人を率いて八幡原へ。

4 9月10日夜半
上杉軍は妻女山頂に捨て篝火を焚
き、上杉軍がいるように見せ、ひそか
に八幡原に移動した。

1 8月16日
上杉軍が妻女山に着陣。

鞭声粛々夜過河
暁見千兵擁大牙
遺恨十年磨一劍
流光底逸長蛇

暁見千兵擁大牙

鞭声粛々夜過河

まずは、戦のまっただなかへ御案内します。

川中島合戦図屏風

謎 1

なぜ、こんなに有名なの？

勝負つかなかったし
その後の歴史を
大きく動かしたわけでもないのに。

謎 2

第1回	1553年8月
第2回	1555年7月-閏10月
第3回	1557年7-8月
第4回	1561年9月10日
第5回	1564年7-8月

なぜ、同じ場所で5回も
戦ったの？

不思議だ。

戦場の外のほうが
むしろ、かしましい。

謙信のPR戦略



上杉1

上杉謙信の書状

弘治二年（1556）六月二十八日 歴代古案

二度にわたって信濃へ進攻したのは村上・高梨らの諸士が頼ってきたのを見捨てられなかったからだ。昨年、信玄めに興亡の一戦を挑んだところ、敵は困って今川を通じて頭を下げてきおったので、万障を投げうって和睦し馬を納めたのじゃ。

上杉1

弱者を助けるための戦だ

戦の趣旨説明

二度にわたって信濃へ進攻したのは村上・高梨らの諸士が頼ってきたのを見捨てられなかったからだ。信玄めに興亡の一戦を挑んだところ、敵は困って今川を通じ馬を下げてきおったので、万障を下げつつ和睦し馬を納めたのだ。みんなに申し聞かせようじゃ。

大ウソ。睨み合いのまま動けず、今川義元に頼んで和睦した。

上杉1

弱者を助けるための戦だ

戦の趣旨説明

二度に
は村上
みなに申し聞かせよ
のを
こ
を
投げ
じゃ。

戦の趣旨 (義による戦だ) と
優勢ぶり (ウソ) を公開書状でPR

信濃へ進攻したの
の諸士が頼ってき
られなかったからだ。
に興亡の一戦を挑ん
は困って今川を通じ
さおったので、万障
和睦し馬を納めたの

大
今川義元に頼んで和睦した。
合いのまま動けず、

上杉2

上杉謙信の願文

弘治三年 1557(正月二十日 歴代古案

信濃へ出兵致しますのは、佞臣武田信玄が乱入して諸士を滅ぼし、神社仏塔を破壊して人々を悲しませておりますのを、隣国の国主として見捨て難いからに他なりませぬ。神は非礼を受けずと申します。国務を奪うために故なく諸家を悩ませておる信玄めに、どうして神の御加護などありましようや。

佞臣（ないしん＝悪者）の乱暴から
隣国を救うために出兵するのだ

信濃へ出兵致しますのは、佞臣
田信玄が乱入して諸士を滅ぼし
神社仏塔を破壊して人々を悲し
せておりますのを、隣国の国主と
して見捨て難いからに他なりませ
ぬ。神は非礼を受けずと申します。
国務を奪うために故なく諸家を悩
ませておる信玄めに、どうして神
の御加護などありましようや。

ここでも義戦だと趣旨説明

佞臣（ないしん＝悪者）の乱暴から
隣国を救うために出兵するのだ

信濃へ出兵致しますのは、佞臣

田信玄が乱入して諸士を滅ぼし

神社仏塔を破壊して人々を悲し

せておりますのを、隣国の国主と

して見捨て難いからに他なりませ

ぬ。**神は非礼を受けずと申します。**

国務を奪うために故なく諸家を悩

ませておるために、どうして神

の御神様は、こんな無礼なヤツは

許しませんよね。

ここでも義戦だと趣旨説明

佞臣（ないしん＝悪者）の乱暴から
隣国を救うために出兵するのだ

信濃へ出兵致しますのは、佞臣

田信

神社

せて

して

ぬ。

国務

ませ

の御加護などありましようや。

神仏の加護が確実に
得られることを
公開願文にてPR

て諸！を滅ぼし
して々々を悲し
を、国の国主と
からになりませ
受け、申します。
に故なく諸家を悩

ませ
め、
どうして神

ここでも義戦だと趣旨説明

謙信のPR戦略の特徴

書状や願文を公開し、
武田の非道ぶりと信濃派兵の正義は
自分にあることを大々的にPR



謙信のPR戦略の特徴

書状や願文を公開し、
武田の非道ぶりと信濃派兵の正義は
自分にあることを大々的にPR



受けて立った信玄公

信玄のPR戦略



武田1

武田信玄書状

永禄元年（1558）閏六月十九日

文永寺文書

安養寺と文永寺の二つのお寺を再興することにつきましては、すでに天皇のご命令も拝領致しました以上、さらさら異議はございません。が、なにぶんにも戦国の世のことでございますので、来る秋に越後勢と決戦を遂げまして勝利を得られましたならば、きつと着手致しましょう。

武田1

安養寺と文永寺
興することにつ
に天皇のご命令
以上、さらさら
ん。が、なに
ことでございます
越後勢と決戦を遂げまして勝利を
得られましたならば、きつと着手
致しましょう。

なんで上杉との戦に勝たないとお寺の修理ができないの？ 信玄さん

の寺を再
は、すで
しました
さいませ
国の世の
来る秋に

安養に興すに天以上ん。越

新手法

領国のすみずみ(伊那)まで
合戦への関心を高めようとした

致しまして。

得られませんでしたならば、きつと着手

戦を遂げまして勝利を

来る秋に

国の世の

さいませ

しました

は、すで

の寺を再

なんで上杉との戦に勝たないとお寺の修理ができないの？ 信玄さん

武田2

戸隠神社に宛てた武田信玄の願文

永禄元年（1558）七月 戸隠神社文書

信濃の十二郡が私の存分に從うか
どうか占いましたところ、升の九
三という卦が出ました。これは往
けば必ず得るという意であります。
また、越後と甲州の和睦を破って
戦を始めることが吉かどうかを占
いましたところ、坤の卦が出まし
た。これは、君子往くところ有り、
先に迷いて後に得ん、という意で

信濃の十二郡が私の存分に従うかどうか占いましたところ、升の九三という卦が出ました。これは往けば必ず得るという意であります。また、越後と甲州の和睦を破って戦を始めることが吉かどうかを占いましたところ、坤の卦が出ました。これは、君子往くところ有り、先に迷いて後に得ん、という意であります。よって、今信濃に居を移せば、今年じゅうに一国が必ず私のものになるでありますよう。

信濃の十二郡が私の存分に従うか
どうか占いましたところ、升の九
三という卦が出ました。これは往
けば必ず得るという意であります。
また、越後と甲州の和
戦を始めることが吉
いましたところ、坤
た。これは、君子往
先に迷いて後に得ん
あります。よって、今
移せば、今年じゅうに
私のものになるであります。

なんで神様に向かって
占いの説明なんか、
いっしょうけんめいし
てるわけ？ 信玄さん

佞臣（ないしん＝悪者）の乱暴から
隣国を救うために出兵するのだ

信濃へ

田信玄が

神社仏塔

せており

して見捨

ぬ。神は

国務を奪

ませてお

の御神様

許しませんよね。

敵の謙信と違う手法をとろうとした

致しますのは、佞臣
八して諸士を滅ぼし
破壊して人々を悲し
みのを、隣国の国主と
難いからに他なりませ
れを受けずと申します。

めに故なく諸家を悩
め、どうして神

こんな無礼なヤツは

ここでも義戦だと趣旨説明

信濃の十二郡が私の存分に従うか
どうか占いましたところ、升の九
三という卦が出ました。これは往
けば必ず得るという意であります。
また、越後と甲州の和
戦を始めることが吉
いましたところ、坤
た。これは、君子往
先に迷いて後に得
あります。よって
移せば、今年じゅう
私のものになるであります。

新手法

なんで神様に向かって
占いの説明なんか、
いっしょうけんめいし
てるわけ？ 信玄さん

まだまだ**がんばる**信玄公



阿弥陀三尊像
山梨善光寺

永禄元年（1558）9月

ドロボー

信濃善光寺の阿弥陀如来像を甲府へ移す

意図は？

派手なパレード付き

信濃はもう武田の領土だ、とアピール

時期が集中している

戦略的

武田1

伊那の二寺の修理おあずけ

永禄元年(1558) 閏六月十九日

武田2

戸隠神社の占い願文

永禄元年(1558) 七月

善光寺如来の拉致

永禄元年(1558) 九月



信玄のPR戦略の特徴

修理おあずけ・占い披露・仏像拉致。
とにかく**新手法**で受けて立つ



シンクロしてる...

独創性で対抗！
つぎつぎに新手法

正義は我にあり！
真っ向真剣勝負



そして激突



上杉3

大決戦の三日後

上杉謙信が部下に宛てた感謝状

永禄四年（1561）九月十三日 歴代古案

凶徒数千騎を討ち取り、大利を得
候こと、年来の本望を達し、また
面々の名誉、この忠功、政虎（謙
信）一世中忘失すべからず候

武田³

大決戦の翌月、武田信玄が京都
の清水寺に宛てた書状

永禄四年（1561）十月晦日

温泉寺所蔵文書

こたびの一戦で勝利を得て、敵三
千余を討ち取りました。怨敵の退
散も間近でありましょう。ついて
は、すぐにでも土地を寄進申し上
げようかと思いましたが、残敵を
掃討してからに致します。

戦のあともPR合戦

勝利を得て敵三千余を討ち取り

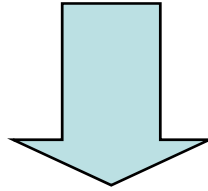


凶徒数千騎を討ち取り

判明！

川中島は特殊な合戦

戦場の外で、双方が熾烈なPR合戦を繰り広げた。



だから、



謎 1

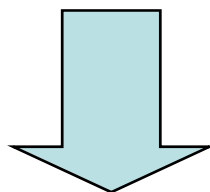
なぜ、こんなに有名なの？

勝負つかなかったし
その後の歴史を
大きく動かしたわけでもないのに。

判明！

川中島は特殊な合戦

戦場の外で、双方が熾烈なPR合戦を繰り広げた。



だから、

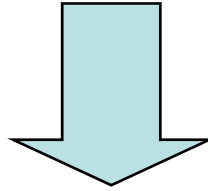
派手に宣伝したから、有名になり、伝説も生まれたんだ！



判明！

川中島は特殊な合戦

戦場の外で、双方が熾烈なPR合戦を繰り広げた。



なぜ？

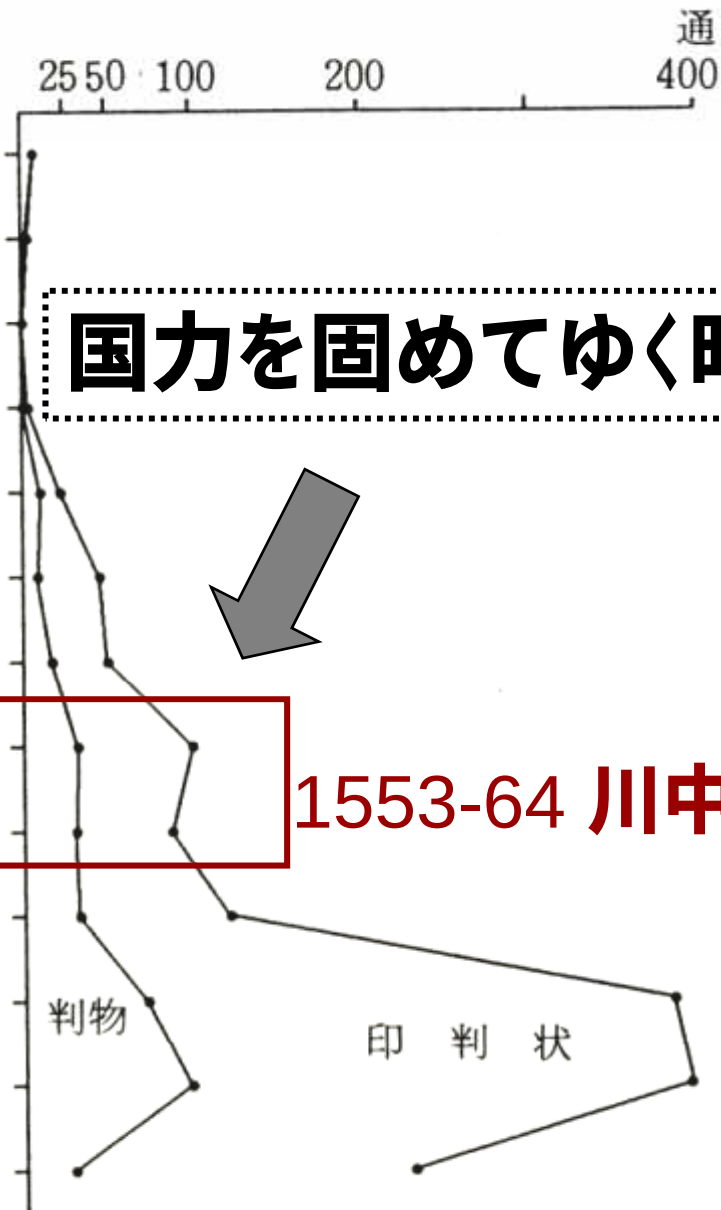


表8 五年ごとの残存量の推移

(単位：通)

武田氏が出した文書の量

年 代	判 物	印 判 状	奉 書 式	直 状 式	計
1496 1522 明応 5～大永 2	8	0	0	0	9
1523 1527 大永 3～大永 7	2	2	0	2	5
1528 1532 享祿 1～天文 1	1	0	0	0	1
1533 1537 天文 2～天文 6	1	3	0	3	4
1538 1542 天文 7～天文11	11	12	0	12	25
1543 1547 天文12～天文16	9	37	3	35	48
1548 1552 天文17～天文21	17	33	0	33	52
1553 1557 天文22～弘治 3	32	68	2	66	105
1558 1562 永祿 1～永祿 5	31	57	5	52	95
1563 1567 永祿 6～永祿10	33	89	48	41	128
1568 1572 永祿11～元龜 3	73	313	273	40	390
1573 1577 天正 1～天正 5	99	298	250	48	405
1578 1582 天正 6～天正10	29	202	168	34	239



判明！

川中島は特殊な合戦

戦場の外で、双方が熾烈なPR合戦を繰り広げた。

なぜ？ 上杉も武田も、ともに国力を固める時期

民意を結集し、国をまとめてゆく核として合戦を利用した。



謎 2

第1回	1553年8月
第2回	1555年7月-閏10月
第3回	1557年7-8月
第4回	1561年9月10日
第5回	1564年7-8月

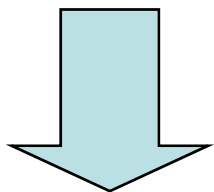
なぜ、同じ場所で5回も
戦ったの？

五度目の会戦の際、上杉謙信が
常陸の佐竹氏に送った書状

永禄七年 1564 八月四日 佐竹文書

昨日三日、信州犀川取り越え、
河中嶋に馬を立て候。

川中島に進軍ただけで
自慢している



武田・上杉決戦の地は
川中島という共通認識が成立



独創性で対抗！
つぎつぎに新手法

正義は我にあり！
真っ向真剣勝負



信玄、謙信、子ども対決！



課題です。

風林火山の武田陣へ

**あなたは信玄の実子武田勝頼。
アイディア家だった父のあと、
どんな路線で国づくりしますか？**

課題です。

毘沙門天の上杉陣へ

**あなたは謙信の甥っ子上杉景勝。
理想家だった叔父のあと、
どんな路線で国づくりしますか？**